

【静内発電所の概要】

発電所所在地	北海道日高郡新ひだか町静内高見1番地の2地先
運転開始年月	1966年11月
水車型式・台数	立軸カプラン水車・2台
最大出力	46,700kW(46,000kW)

()内は変更前



静内発電所全景



静内発電所で採用した新型水車ランナ羽根

羽根の形状と水の流れ・圧力を条件に解析し、羽根の形・厚さ・角度を最適化することで効率が上がる。

また、エネルギーの損失を減らしたことで、水車の損傷も減少する。

【参考】水車ランナ取替えによる最大出力増加への取り組み事例

発電所名	変更前出力 (kW)	変更後出力 (kW)	実施時期
層雲峡発電所 <small>そうらんきょう</small>	23,800	25,400 (+1,600)	2011年2月
豊平峡発電所 <small>ほうへいきょう</small>	50,000	51,900 (+1,900)	2011年6月
真敷別発電所 <small>まくんべつ</small>	16,400	18,000 (+1,600)	2012年2月
比羅夫発電所 <small>ひらふ</small>	11,000	12,000 (+1,000)	2012年7月
富村発電所 <small>とむら</small>	40,000	41,300 (+1,300)	2015年3月
春別発電所 <small>しゅんべつ</small>	27,000	28,500 (+1,500)	2016年3月